

原発がこわい女たちの会
http://blog.zaq.ne.jp/g-kowai-wakayama/

《 2015年11月 | トップ | 2016年01月 》

検索

2015年12月27日(日)

 検索

原発がこわい女たちの会ニュース96号発行

アーカイブ

24日、関西電力高浜原発3・4号機の運転を差し止めた福井地裁の仮処分決定を、別の裁判長が取り消した。直前に「地元同意」は得られたことになっている。これで関電は、再稼働まっしぐらです。女たちの会では28日付で、ニュース96号を発行。内容は以下の通りです。

【 CONTENTS 】

- * 運転差止仮処分申立人声明
- * 経過
- * 避難計画では住民の安全は守れない
- * 高浜原発再稼働反対リレーデモに参加して(11月25日既報)
- * 小児甲状腺がんの多発
- * 報告と本の紹介
- * 後記

■ 大飯原発3・4号機及び高浜原発3・4号機運転差止仮処分
申立人声明

司法よ！ おまえもか・・・と言わざるを得ない「決定」に対し、強い憤りを覚えました。

しかしながら、わたしたちは決して負けたわけではありません。司法が、三権分立の砦を守り切れず、政府と原子力カムラに負けてしまっただけのことです。

こんな情けない「決定」を出さざるを得なかった裁判官のみなさんもさぞや、後味の悪い想いに駆られていることでしょう。裁判官自らが、法の番人であることを放棄し、国民の権利である基本的人権を踏みにじったのですから・・・裁判官がつけているバッジは、三種の神器のひとつである八咫(やた)の鏡をかたちどったものです。鏡が非常に清らかで、はっきりと曇りなく真実を映し出すことから、八咫(やた)の鏡は、裁判の公正を象徴しているものと言われています。福井地裁の裁判官のみなさんのバッジは、きっと曇っていたのかもしれない。

わたしたちの弁護団の意見陳述は、どのような秤ではかるうとも、「正義」であり、科学的根拠に基づいたプレゼンテーションは、関西電力をはるかに凌駕するものでした。その真実をどのような天秤にかけてはかれば、このような「決定」を下すことができるのか信じられません。

わたしたちは今日この日の「怒り」をエネルギーにして、「正義は勝つ！」その日まで、さらに闘い続けます。

全国からご支援して下さったみなさま
わたしたちの闘いはこれからも続きます。
転んでも転んでも立ち上がり続けることこそが、市民運動であり、草の根運動の真の姿です。福島原発事故を風化させないために、そしてわたしたちの未来を担うこどもたちに「核のない世界」をプレゼントできるその日まで、ともに闘いぬきましょう。

2015年12月24日

大飯・高浜原発運転停止仮処分申立人一同

今大地晴美・水戸喜世子・高橋秀典・松本なみほ・西村敦子・水戸晶子・長谷川羽衣子・石森修一郎・松田正

<http://www.datsugenpatsu.org/bengodan/news/15-12-24/>

- 2016年11月(2)
- 2016年10月(1)
- 2016年09月(1)
- 2016年08月(2)
- 2016年07月(4)
- 2016年06月(2)
- 2016年05月(1)
- 2016年04月(3)
- 2016年03月(2)
- 2016年02月(3)
- 2016年01月(2)
- 2015年12月(4)
- 2015年11月(2)
- 2015年10月(1)
- 2015年09月(3)
- 2015年08月(3)
- 2015年07月(2)
- 2015年06月(2)
- 2015年05月(2)
- 2015年04月(2)
- 2015年03月(2)
- 2015年02月(2)
- 2015年01月(5)
- 2014年12月(3)
- 2014年11月(2)
- 2014年10月(2)
- 2014年09月(2)
- 2014年08月(1)
- 2014年07月(2)
- 2014年06月(1)
- 2014年05月(3)
- 2014年04月(4)
- 2014年03月(3)
- 2014年02月(1)
- 2014年01月(3)
- 2013年12月(4)
- 2013年11月(1)
- 2013年10月(3)
- 2013年09月(5)
- 2013年08月(1)
- 2013年07月(3)
- 2013年06月(5)
- 2013年05月(3)
- 2013年04月(2)
- 2013年03月(6)
- 2013年02月(2)
- 2013年01月(3)
- 2012年12月(2)
- 2012年11月(1)
- 2012年10月(2)

(高浜原発保全異議決定文等、詳しくは脱原発弁護団全国連絡会へ)

■ 福島原発事故によって膨大な放射能がばらまかれました。避難した人たちも残った人たちも、今でも、苦難と不安の中で日々を送っています。この福島の現実を無視して原発を再稼働させる人々への怒りをバネに原発廃炉へ！

<以下、ここ数週間の経過です。 ▲は市民側の動き>

12月1日の議会初日に高浜町長が賛同表明をするとの情報があり
 ▲11月27日高浜町長に再稼働表明しないように緊急要請書を提出(91団体で;提出団体に原発がこわい女たちの会も入っています)
 12月3日 高浜町長再稼働に同意表明
 ▲「避難計画を案ずる関西連絡会」で抗議声明を出す
 12月17日 福井県議会が再稼働に同意。
 12月18日 政府は原子力防災会議(議長は安倍晋三首相)を開き、再稼働手続きが進む関西電力高浜原発の周辺自治体の避難計画を了承(計画了承は事実上、再稼働手続きの一環)。首相は、「具体的で合理的」と評価し「万一、事故が起きた場合、政府が責任を持って対処する」と述べた。
 12月19日 福井県原子力安全専門委員会の「審議とりまとめ」が出る。(基準地震動700ガルは過小評価だと委員の一人が報告書を厳しく批判したが無視)
 ▲審議前に要望書を出す
 12月20日 林幹雄経済産業相が福井県を訪れ西川福井県知事と面会。林経済産業大臣は「安全対策や事故時の対応に国が責任を持つ」と語った。
 ▲12月22日「関西広域連合委員会委員」宛の署名提出(16日~21日6日間のネット署名+紙署名で5086筆)
 ▲12月22日 京都府知事宛に再稼働反対の要請を申し入れ。京都府庁にて記者会見。
 12月22日 福井県西川知事が再稼働に同意表明。
 ▲「避難計画を案ずる関西連絡会」で抗議声明を出す。
 12月24日 福井地裁が関西電力高浜原発3、4号機の再稼働を禁じた4月の同地裁の仮処分決定を取り消した。大飯原発3、4号機の運転差し止め仮処分申請も却下。
 手続き上の出来レースを観ているようでした。最後に、司法は福島の事故後の司法としての責任を放棄した、としか思えません。
 12月24日 関西広域連合が国に対して申し入れ。
 (関西広域連合の副連合長は仁坂和歌山県知事です。申し入れ文を同封します)
 関西広域連合のホームページhttp://www.kouiki-kansai.jp/data_upload/1450952143.pdf

■ 避難計画では住民の安全は守れない！
 原子力防災は廃炉しかない！

福島県の面積は広い。和歌山県の面積の3倍あります。それは福井県、京都府、滋賀県、大阪府の一部を合わせてようやく福島県と同程度の面積になります。

原発から30kmまでの避難計画は各都道府県がすることになっています。高浜原発から約30キロ圏内に福井・京都・滋賀の25万人以上が暮らしています。その人口割合は京都府が51%、滋賀県が23%、福井県が26%です。京都府は福井県より避難住民が多くなるわけです。また京都府の舞鶴市の一部は5km圏内にあります。

福井県の知事と関電は、再稼働の判断は福井県と高浜町だけで十分、と言って、今回も福井県内でも再稼働の判断は高浜町だけでした。再稼働の同意権は福井以外に、最低30キロ圏内の京都や滋賀にもあって当然だと思います。「事故が起きた場合、政府が責任を持って対処する」と安倍首相がいても、事故が起きれば国は責任を取らないのは福島の事故の状況を観ればよくわかります。

さらに高浜原発では、福島県の原発事故を無視したとしか考えられない事故想定と被ばく評価が登場しました。国と関西電力の被ばく評価は驚くほど過小評価です。放射能放出率は、福島原発事故の千分の1以下。原発から5km地点で1^ミシーベルト以下(7日間屋外・実効線量)。聞いて絶句しました。またもや安全神話です。各地の住民説明会等では被ばくは大したことないと宣伝しています。



- 2012年09月(2)
- 2012年08月(2)
- 2012年07月(4)
- 2012年06月(4)
- 2012年05月(3)
- 2012年04月(1)
- 2012年03月(1)

最新コメント

[日韓の原発事情、国 by 民守 正義(08/21)
 そもそも、我が和歌 by 清水俊幸(07/25)
 コメントありがとう by sora(12/05)
 突然すみません。東京 by 里美(11/22)
 10/26と11/29のチケッ by 角谷(10/23)
 starさんコメントあり by sora(09/14)
 このブログを読むまで by star(09/13)
 こんにちは。メッセ by わんこ(04/15)
 現在稼働している大飯 by star(04/09)
 廃炉産業を起こしてほ by kaziwarayosiyuki(03/14)

カレンダー

< 2015年12月 >

日	月	火	水	木	金	土
	1	2	3	4	5	
6	7	8	9	10	11	12
13	14	15	16	17	18	19
20	21	22	23	24	25	26
27	28	29	30	31		

最新記事

琵琶湖が危ない 老朽原発美浜3号も廃炉に！ 11・13
 琵琶湖集会(11/15)
 汐見文隆先生、ありがとうございました(11/08)
 原発がこわい女たちの会
 ニュース99号発行(10/12)
 高速増殖炉もんじゅ廃炉へ(09/27)
 老朽原発・美浜3号機は廃炉に！パブコメを出そう(08/28)
 ピースボートで韓国古里(コリ)原発を見学してきました(08/21)
 熊本地震の経験から原発の耐震性見直しを要求し、25団体で共同声明を出しました(07/22)
 老朽原発・関西広域連合へ要望書と和歌山県との話し合い(07/17)
 原発のない社会を投票で示そう！(07/05)

詳しくは「避難計画を案ずる関西連絡会」のパンフを読んでください。(同封)
 「福島原発事故の実態と被害を無視/高浜原発3.4号の再稼働を止めよう」
 で前文は福井県知事の同意前のものですが中身は変わりません。
 再稼働反対の理由 ●安全性—1~4 ●避難計画—1~5と説明しています。

原発がこわい女たちの会
 ニュース98号発行(07/04)

SCHEDULER

ナビゲーション

トップ
 記事の投稿
 管理
 RSS
[ログアウト](#)

BLOGariは2017年1月末
 サービス終了します

■ 小児甲状腺がんの多発

約3か月ごとに福島県民健康調査の専門家会議が開かれています。9月30日現在の最新のデータがでました。それによると、甲状腺がん悪性・悪性疑いが152人になりました。このように、小児甲状腺がんが多発していることに、なんとも言えない痛みを感じながら何とか出来ないか考えています。

Ourplanet による福島県民健康調査の専門家会議から引用しておきます。

投稿日時: 土, 11/28/2015 - 03:13

<http://www.fukushimavoices.net/?q=node/2004>

東京電力福島第一原発事故後、福島県が実施している「県民健康調査」の検討委員会が30日、開催され、当時18歳以下だった子どもを対象に行っている甲状腺検査の結果などが公表された。検査を実施している福島県立医大によると、2011年から今年9月30日までの間に、152人の子どもが甲状腺がんの悪性または悪性疑いと診断された。

今回の検討委員会では、2011年から2013年までの先行検査(1巡目)については口頭のみでのデータ公表となった。福島県立医大の津留留晶教授の説明によると、先行検査で、甲状腺がんの悪性または悪性疑いと診断された子どもは、良性結節と確定診断を受けた1人を除き、1人増の113人となった。また手術を終えて甲状腺がんと確定した子どもは2人増え100人となった。

甲状腺検査結果
 (2015年9月30日現在)

	受診対象者	受診者数	穿刺細胞診で悪性・悪性疑い	手術後に甲状腺がんと確定
1巡目 (先行検査) 2011~13年	367,685	300,476	113※(1増)	100(2増)
2巡目 (本格検査) 2014~15年	379,952	199,722	39(14増)	15(9増)
すべての 検診合計			152(15増)	115(11増)

※113人には手術後に良性結節と確定診断された1人は含まれていません

また本格調査(2巡目)で、悪性または悪性疑いと診断された子どもは、新たに9人増えて39人となり、そのうち15人が手術を終えて、甲状腺がんと確定した。穿刺細胞診で悪性と診断された39人のうち、先行検査でA判定だった子どもは37人で、前回A1と診断された19人にはまったく所見はなかったという。子どもたちの年齢は、事故当時6才から18才で、摘出された甲状腺がんは最大30.1ミリだった。

■ <報告>

□ 国相手の大飯原発裁判の原告として(松浦雅代)
 12月21日15:00からの第16回法廷に参加してきました。
 抽選があるために14:45分までに大阪の裁判所前に行きました。
 15:00から始まりましたが被告の準備書面に対する反論。設置許可基準規則55条にかんする争点について原告側弁護士の大橋さゆりさんが反論しました。それで次の日程3月26日を決めて終わりです。いつもですがあつけなく終わります。



法廷終了後、報告、交流会がAP大阪淀屋橋で開かれてゲストの青田由幸さんの講演「南相馬の逃げ遅れた人々」をお聞きしました。青田由幸さんは、震災直後、全国の市町村で唯一個人情報開示の下、南相馬市内に取り残された障害者の安否確認、生活支援を行った方です。
 “そして だれも いなくなってしまった”7万人の人口から1万人へ
 誰が残るのかといえば 逃げられないひとたち。
 青田さんのお話をお聞きして、原発震災は 要支援者(障害者や高齢者)の避難は想像以上に大変だと思いました。
 『原発震災、障害者は…消えた被災者』著書は青田由幸・八幡隆司お二人です。

解放出版社2014年7月25日発行。定価1200円+税

□ 会員の古田伊公子さんから手紙が届きました。ことし5月の佐藤栄佐久氏の講演の中で触れられていた福島県只見町の水力発電の被害の映像を観て、是非行ってみたいと11月に福島に行った時に立寄ったそうです。とても遠かったけど、お蕎麦がおいしかったそうです。また、皆さんに紹介してほしい本があるということで、「毒ガスの島」の紹介メモが入っていました。“読みながら原発作業員の方々へ心を馳せるフルタ”と記されていました。『毒ガスの島』樋口健二写真・文
こぶし書房(増補新版)2015年6月30日刊です。定価2400円+税
旧日本軍 毒ガス製造工場・大久野島。そこで働いていた労働者、学徒の戦後を追う。棄民たちの記録。



□ 身近な放射線と健康被害について
崎山比早子氏の講演会を開催します
2016年1月17日13:30~16:00
会場ビック愛9階A会議室
参加協力券500円(チラシ同封)

主催 子どもたちの未来と被ばくを考える会 協賛 原発がこわい女たちの会 他

崎山氏は国会事故調査委員をされましたので、チェルノブイリ事故後、電事連がどのような手を使ってきたのかを調べています。福島事故後の復活した原子カムラの動きが、少しはわかるのではないのでしょうか。

□ 福島は5年たった今も、まだ原子力緊急事態宣言が発令されたままです。従来の法令は停止されています。汚染は少なくとも数十年に亘って続くため、今後も長い間緊急事態宣言は解除されません。このようななかで、子どもたちを被ばくからいかにして守れるのか。状況はとてつもなく困難です。

□ 10月29日「避難の権利を」を求める全国避難者の会が設立されました。共同代表にうのさえこさんと中手聖一さん 骨抜きにされている「避難の権利」を何とかしないとの思い。やっと一歩踏み出しました。

<記>

こんなに年が押し迫っているときにパソコンに向かって女の会のニュースを作成するのは初めてです。関西電力と政府のシナリオに合わせて高浜原発再稼働同意劇場は進められました。福島事故は何もなかったかのような報道。私も含むみなさんの記憶の中からも福島は薄れているのです。それを政府や電力会社はよく見抜いてるように思いました。

12月9日広島、長崎両市長が国に対してインドとの原子力協定交渉の中止を要請しました。少しうれしくなりましたが、そんな要請を聞く耳持たない安倍体制です。へこたれたら負けです。良い年をお迎えください。(松浦雅代)

2015-12-27 | 記事へ | コメント(0)

2015年12月09日(水)

講演会のお知らせ—低線量被ばくによる健康被害

福島第一原子力発電所の事故からすでに5年近くが経ってしまいました。この事故では大量の放射性物質が環境にまき散らされ、避難した人たちも残った人たちも、今でも、苦難と不安の中で日々を送っています。

国は、被ばくした人々を守るためにすべきことをせずに、この事故のことを忘れ去らせようとし、避難区域への帰還促進政策を進めています。しかし現在もなお、事故当時発令された原子力緊急事態宣言は解除されないままです。従来の法令は停止され、今後も長い間緊急事態宣言下の状態が続きます。

私たちは、いやでも放射線が身近に存在する事実を直視し、放射線に敏感な

子どもたちの被ばくを極力避けるためにも、まず低線量被ばくによる健康被害について、本当のことを知ることが大切だと考えます。

「身近な放射線と健康被害」について、崎山比早子さんを迎えて講演会があります。主催は、子どもたちの未来と被ばくを考える会
<http://kodomomiraikibou2012.seesaa.net/>
チラシも↑にあります。
原発がこわい女たちの会も協賛団体になっています。

講師の崎山比早子さんは、福島原発事故の国会事故調査委員会委員も務められた放射線医学の専門家です。2011年8月には和歌山市及び田辺市で講演していただいています。会場からあふれそうなほどの参加者でした。4年たった今、放射線の危険性について、しっかりと学び返していきたいと思います。

以下、講演会のご案内 チラシの内容です。

身近な放射線と健康被害について

福島原発事故からもうすぐ5年。福島県では小児甲状腺がんの多発が報告されています。(事故当時18才未満だった受診者のうち、先行調査・本格調査合わせて138人の甲状腺がん、あるいはその疑いがあります。)
甲状腺は身体の代謝、成長、成熟に必須の甲状腺ホルモンを産生するところ
です。成長期の子どもたちにとって大きなリスクを背負い込むことになりました。さらに、低線量被ばくによる健康被害は甲状腺がんだけではありません。被ばくするということは子どもたちの未来にどのように影響してくるのでしょうか？

身近な放射線と健康被害について本当のことを知るために、崎山比早子さんに来ていただくことになりました。是非ご参加下さい。

- 日時 2016年1月17日(日)13:30~16:00
- 会場 ビッグ愛9階会議室A (和歌山市手平2-1-2)
- 講師 崎山比早子さん
- 参加協力費 500円(参加申込不要・当日参加可)

崎山比早子さんの略歴

1974年千葉大学大学院医学研究科修了 医学博士
元マサチューセッツ工科大学研究員
元放射線医学総合研究所主任研究官 を経て高木学校メンバー
元国会事故調査委員会委員

* 高木学校とは
(故)高木仁三郎さんが市民の科学者を育てるために
1998年に設立した学校です。

主催 子どもたちの未来と被ばくを考える会
事務所:和歌山市三番丁6 関西電ビル4階 金原法律事務所内
問合せ:事務局 松浦 TEL:073-451-5960
協賛:生活協同組合 コープ自然派和歌山ノにんにこ被災者支援ネットワーク
和歌山ノ上岩出診療所ノ原発がこわい女たちの会(順不同)

2015-12-09 | [記事へ](#) | [コメント\(0\)](#)

2015年12月04日(金)

高浜町・野瀬町長の再稼働同意に抗議する

12月3日 高浜町議会で野瀬町長が再稼働に同意しました。差し止め裁判の判決が出ていない中での司法無視。「判断材料が違うので分けて考えた」のだそうです。こんなのアリーツ？！です。

抗議声明が出ました。

抗議声明は、京都府下の30キロ圏市町住民有志(全て京都府下7市町である伊根町・舞鶴市・宮津市・綾部市・京丹波町・南丹市・福知山市民の有志)と京都市民有志、そして避難計画を案ずる関西連絡会(広域避難先である関西一円の市民)が発行しています。関西一円の市民に和歌山市民も入っています。

http://greenaction-japan.org/internal/151203_takahama_kogi.pdf

以下が全文です。

抗議声明

高浜町長の原発再稼働同意表明は断じて認められない

本日(12月3日)の高浜町議会において、野瀬町長は高浜原発3, 4号機の再稼働に同意しました。私たちはこの同意表明にたいし、満身の怒りを持って抗議し、あくまで再稼働に反対を表明します。

福井地方裁判所は先に大飯原発の再稼働を差し止め判決、次いで今年4月、「高浜原発を運転してはならない」との画期的な仮処分決定を下しました。決定は、新規規制基準に基づく国の審査に合格しても安全性はなんら確保されないと、その理由を具体的に指摘しています。しかし野瀬町長は司法判断に耳を貸さず、国の審査に合格したことをもって安全性が確保されたと強弁し、再稼働の同意に踏み切りました。福島事故を経験したあとでの今回の同意は、福島原発の事故によって直接間接に命を落とした人々や、いまだに10万に上る避難者、さらには後世の世代が決して許さないでしょう。

去る11月、京都府下の原発から30キロ圏にある7市町で実施された国や関電の住民説明会では、多くの会場で一般市(町)民を締め出し、所によっては会場からの質問さえ受け付けないという非民主的なものでした。市民が参加できた会場では、避難計画等に強い批判の声があがりました。また、ケーブルテレビ等による市民向けの説明や、視聴者による国への質問と回答もこれからのことです。立地自治体周辺への一方的な説明ですらできていないのに国民の理解が進んだなどと、とうてい言えるはずがありません。世論の大半は原発にも再稼働にも賛成していません。

先の判決は、人格権に勝るものではなく、これと経済的損得を同列に論じることはできないと断じています。高浜町長は、過疎と向き合いながらも決して原発による「恩恵」を求めない京都府民や滋賀県民の声を聴くべきです。再稼働を高浜町長や福井県知事だけで決めて、過酷事故が起きれば京都・滋賀の隣接市町をたんに避難の通路とみなす傲慢な姿勢が許されるでしょうか。ここに暮らす住民や避難先市民のくらしと意思は羽よりも軽いのでしょうか。

高い線量で被ばくしたまま、緩い基準のもとで除染されずに避難する高浜町民も、持ち込まれる放射能によって2次被ばくする避難先住民の健康も、町長は考慮しなかったのでしょうか。避難の足となるバスの確保や要援護者の避難計画に実効性がないこと、広域避難先の多くは災害危険区域にあること、琵琶湖が汚染されれば関西1,400万人に甚大な影響が及ぶことなど、様々な指摘を真摯に受け止めず再稼働に同意した高浜町長に抗議し、あくまで再稼働を許さない近隣住民や広域避難先住民の不退転の決意をここに表明します。

そして、周辺住民の生命や暮らしに対し、また、伊根町の船宿(ふなやど)や南丹市の茅ぶき住宅群など、放射能汚染によって失われる重要歴史的建造物群をもつ市町や有数の世界遺産(申請中の天橋立を含む)を60キロ圏に持つ市町が、かけがえのない資産を喪失することに対して高浜町長はどのように責任を取るのか、取れるのか、公に説明するようあわせて求めます。
2015年12月3日

京都府下の30キロ圏市町住民有志(伊根町・舞鶴市・宮津市・綾部市・京丹波町・南丹市・福知山市・京都市民有志)
避難計画を案ずる関西連絡会(広域避難先である関西一円の市民)

連絡先: 原発なしで暮らしたい丹波の会(南丹市園部町船岡藁無)
グリーン・アクション(京都市左京区田中関田町22-75-103 TEL: 075-701-7223)
美浜の会(大阪市北区西天満4-3-3星光ビル3階 TEL:06-6367-6580)

2015-12-04 | [記事へ](#) | [コメント\(0\)](#)

2015年12月03日(木)

高浜原発「地元」町長に緊急要請

野瀬豊高浜町長が3日にも高浜原発3, 4号機の再稼働に「同意」を表明すると報じられています。

高浜原発再稼働 高浜町長あすにも同意表明へ(12月2日、NHK)
<http://www3.nhk.or.jp/news/html/20151202/k10010326331000.html>

これらの動きに対して、原発再稼働に反対する団体が、高浜町長に再稼働に同意しないよう、以下のように緊急要請書を提出しました。「原発がこわい女たちの会」も「脱原発わかやま」も提出団体の中に入っています。提出日11月28日。
http://www.jca.apc.org/mihama/takahama/takahama_yobo151127.pdf

緊 急 要 請 書

高浜原発3・4号再稼働の同意を拙速に表明しないよう強く求めます

高浜町長 野瀬 豊 様

高浜町長は、12月1日の町議会初日にも高浜原発3・4号の再稼働に同意を表明しようとしています。しかし、私たちは以下の理由により、拙速な同意表明に強く反対します。

【理由】

1.高浜3・4号の仮処分異議審(福井地裁)の決定はまだ出ていません。

「再稼働をしてはならない」と決定を下した4月14日の福井地裁の決定が現在も生きています。司法の判断をないがしろにしないでください。

2.関西電力と国の安全性評価は、福島原発事故の教訓を全く無視したものです。

関電が設置すると福井県と高浜町に約束していた免震重要棟(緊急時対策所)もなく、大事故が起こった時の汚染水対策もなく、放射能放出量は福島原発事故時の千分の1以下という甘い評価のままです。
なお、福井県の原子力安全専門委員会で審議が継続中です。高浜町だけで、安全性の評価ができるのですか。

3.避難計画は実効性がありません。

高浜町から兵庫県に避難する場合の町民のスクリーニング場所さえ決まっていません。兵庫県の避難所の3割は、土砂災害等の危険区域に設定されたままです。安定ヨウ素剤は高浜町内の1地区では事前配布になっておらず、事故時に子どもたちの安全を守ることはできません。
とりわけ入院・入所・在宅の要援護者の避難手段や、安全な避難先は確保されていません。屋内退避では、薬の入手やヘルパーも来ることができず、命にかかります。

4.高浜町と福井県だけで再稼働同意を決めないでください。被害地元である関西一円的意思を尊重すべきです。NHK福井のアンケートでは、高浜町の人々も、同意権は「30km圏内の京都・滋賀を含む自治体」に必要なと多くの人が答えています。

高浜原発から約30km圏内には、京都府北部7市町、滋賀県2市町が含まれ、避難者253,500人の内、その半数以上が京都府北部の住民です(128,500人)。さらに、琵琶湖が汚染されれば、関西1,400万人に影響が及ぶのは必至です。

関西広域連合は、避難計画の実効性がないもとは「再稼働に同意する環境にはない」と国に対して求めています。被害地元である関西の意思を尊重すべきです。

さらに、同意の範囲に関するNHK福井のアンケート調査では(10月2日から3日間実施)、高浜町の人々の回答は「30km圏内に入る京都・滋賀を含む自治体」が26%で、「高浜町・福井県」のみと答えた21%よりも多くなっています。30km圏内の人々の回答では「30km圏内の自治体」が45%で最も多く、「高浜町・福井県」のみでいいと答えたのはわずか6%でした。これら高浜町・周辺住民の声を尊重すべきです。

5.これ以上使用済燃料を増やすべきではありません。使用済みMOX燃料の行き場はありません。

高速増殖炉もんじゅについては、原子力規制委員会でさえ「原子力研究開発機構」に任せることはできないとして勧告を出しました。もんじゅは廃炉にす

るしかありません。そうなれば、六ヶ所再処理工場も全く必要なくなります。核燃料サイクル政策には、これまで12兆円もの血税が注ぎ込まれてきました。超危険で金食い虫の核燃料サイクルは終わりにする時期にきています。全国的な議論が必要です。

そのような中で再稼働を進めれば、核のゴミが増えるだけです。原発の運転を続けるための核のゴミ捨て場＝「中間貯蔵」の建設などもつてのほかです。

さらに、高浜3・4号で計画されているプルサーマルでは、一層やっかいな使用済みMOX燃料が生み出されます。しかし使用済みMOX燃料の行き場はなく、高浜町に半永久的に居座り続けることとなります。

これらの理由から、高浜原発3・4号再稼働の同意を拙速に表明しないよう強く要請します。

要 請 事 項

1. 高浜原発3・4号再稼働の同意を拙速に表明しないこと。

2015.11.27 提出団体：91団体（福井県と関西2府4県で 89団体、その他 2団体）

ふるさとを守る高浜・おおいの会／原発設置反対小浜市民の会／(株)森と暮らすどんぐり倶楽部／原子力発電に反対する福井県民会議／サヨナラ原発福井ネットワーク／プルサーマルを心配するふつうの若狭の民の会／福井から原発を止める裁判の会／口丹自然のくらし協議会／原発なしで暮らしたい丹波の会／原発なしで暮らしたい宮津の会／原発ゼロをめざす宮津・与謝ネットワーク／宇宙と農とわたし・丹波の会／再稼働を考える上林の会／亀岡市民まちづくり風の会／エコみらいママの会／くらしを見つめる会／トカイナカ倶楽部／平和を願う亀岡市民の会／亀岡夢咲くネット／亀岡のおいしい水を守る会／グリーン・アクション／2007年京都きさらぎの会／アジェンダ・プロジェクト／資料センター《雪の下の種》／京都・水と緑をまもる連絡会／(アイ)女性会議・京都／七番めの星／わかさの原発を案ずる京田辺市民の会／原発ゼロネット八幡／平和のテーブル・京都／グリーンフォレスト関西／京都脱原発原告団・世話人会(京都府)／No Base! 沖縄とつながる京都の会／京都の原発防災を考える会／よつ葉ホームデリバリー・西京都／放射能健康診断 100万人署名運動推進京都実行委員会／京田辺議会と共に歩む市民の会／あおぎり／原発ゼロをめざす城陽の会／NPO法人・市民環境研究所／NPO法人使い捨て時代を考える会／安全農産供給センター／小倉山をみつめる会／脱原発・滋賀☆アクション／花風香の会／ネットワークあすのわ／9条ネット・滋賀／美浜・大飯・高浜原発に反対する大阪の会／原発やめよう／つながろう関西・マダム会議／オールターナティブズ／市民のひろば／さよなら原発箕面市民の会／大阪大学附属病院看護師労働組合／福島原発からの放射能放出をやめてほしいと願う阪大病院看護師の会／能勢から未来を考える会／さんさんシスターズ／戦争あかん！ ロックアクション／原発ゼロ上牧行動／mame-ten-cafe／阪南中央病院労働組合／びあ・ネット／100万年の会／高槻アスネット／吹夢キャンプ実行委員会／福島の子どもたちを放射能から守ろう・関西／おおい原発止めよう裁判の会／平和と民主主義をめざす全国交歓会(ZENKO)／STOP原子力★関電包囲行動／とめよう原発!!関西ネットワーク／子どもたちに未来をわたしたい・大阪の会／脱原発へ！関電株主行動の会／オーガニック屋 TAYUCOCO／地球とともに／さよなら原発神戸アクション／脱原発はりまアクション／名前のない新聞／日本消費者連盟関西グループ／さいなら原発尼崎住民の会／原発の危険性を考える宝塚の会／関西合同労働組合／関西合同労働組合兵庫支部／奈良脱原発ネットワーク／さよなら原発なら県ネット／脱原発わかやま／原発震災を考える和歌山県民の会／いらんわ原発！NO核熊野の会／つゆくさと大地の会／原発がこわい女たちの会／若狭の原発を考える会／避難計画を案ずる関西連絡会／島根原発増設反対運動／ドイツ公益社団さよなら原発デュッセルドルフ／

連絡先団体:

ふるさとを守る高浜・おおいの会高浜町小和田 29-17(東山方) TEL/FAX: 0770-72-3705

原発なしで暮らしたい丹波の会南丹市園部町船岡藁無 8-2(こだま方)090-3862-2468

グリーン・アクション京都市左京区田中関田町 22-75-103 TEL: 075-701-7223

美浜・大飯・高浜原発に反対する大阪の会大阪市北区西天満 4-3-3星光ビル 3階 TEL: 06-6367-6580

2015-12-03 | 記事へ | コメント(0) |

RSS 2.0